

受賞者の概要

施設部門

<最優秀賞>

○輪島 KABULET® 拠点施設（公衆浴場、福祉施設、事務所等）

[設置者：社会福祉法人佛子園]

設計者：株式会社五井建築研究所]

複数棟の空き家をリノベーションして一体整備された施設であり、各棟で階高が異なる箇所はスロープを設けて段差を解消している。世代や障害の有無に関わらず、様々な人が交わり合う「ごちやまぜ」の福祉というコンセプトのもと、共生社会の実現に取り組んでいる。



<優秀賞>

○くらし・しごと応援センターはるかぜ（福祉事業所）

[設置者：社会福祉法人長久福祉会]

設計者：未来建築設計]

床面の高さを低くして掃き出し窓から出入りをしやすくしているほか、自動ドアのタッチプレートを低めに設置したり、オープンキッチンの通路幅を広くしたりするなど、様々な利用者が使いやすくなっている。

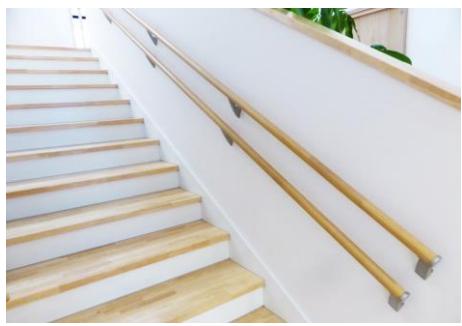


<奨励賞>

○袖ヶ江みなとこども園（幼保連携型認定こども園）

[設置者：社会福祉法人七尾みなと福祉会 設計者：株式会社浦建築研究所]

歩車分離がなされており、駐車場付近から出入口まで奥行きのある軒下空間を設けることで雨や雪に配慮している。青柏祭のシンボル「でか山」を原寸大で外観デザインや施設内部の遊び場に取り入れており、園児だけでなく地域住民にも親しみのある建物となっている。



活動部門

<最優秀賞>

○グループ銀河

活動開始：平成12年4月

活動地域：金沢市

- ・障害者の健康維持、心身の障害の機能回復、問題行動の改善などを目的に、知的障害のある方などを対象とした音楽療法教室を月2回開催しており、定期的に大学病院や施設等で交流コンサートも開催している。
- ・教室ではクラフト体験や外部講師による演奏会、紙芝居や茶道なども行っており、生徒が様々な経験ができるよう工夫されている。



<優秀賞>

○公益社団法人石川県鍼灸マッサージ師会

活動開始：平成26年4月

活動地域：県内全域

- ・様々なイベントや行事で鍼灸マッサージの施術ブースや体験教室を設け、来場者に無料で施術を行ったり、マッサージの方法を紹介したりしている。
- ・鍼灸マッサージを通じて高齢者や障害者の自立支援や症状軽減や、家族などの介助者へのサポートに貢献している。



<奨励賞>

○志賀町シルバーリハビリ体操指導士会

活動開始：平成31年4月

活動地域：志賀町

- ・敬老会や公民館行事等へ出向き、住民に介護予防を狙いとした「シルバーリハビリ体操」の周知・指導を行っている。
- ・シルバーリハビリ体操は特別な道具を使わずに、いつでも、どこでも、誰でも気軽にできる体操で、住民が主体となって介護予防に取り組む「自助・互助」を目的に活動している。



福祉用具部門（一般部門）

<最優秀賞>

○onehand eliminator（梶澤 祥子）

- ・片麻痺で人工肛門を造設された方が、衣服や床を汚さずに片手で便を処理するために作製した。
- ・ベルトで大腿部に固定した容器に袋をセッショナル、パイプ等を使用しながらストーマ袋に溜まった排泄物の処理を行う。



<優秀賞>

○戸まる棒（中川 夕夏）

- ・ドアとドア枠の隙間（蝶番の部分）に挟み込んで使用するドアストッパーで、車いす使用者や下方へのリーチが困難な方が、かがまずに使用できる。
- ・表面の一部に磁石板を貼ることで、使用しないときはドアにくっつけて収納することができる。



(使用時)

(収納時)

○腕上げ吊るべえー（福村 和義）

- ・腕が肩の高さまで上がらず、食事がしづらくなつたことから作製された。
- ・紐を首にかけて両端の輪に手首を通し、片方の手を引っ張ると滑車のようにもう片方の手をあげることができる。
- ・S字フックを使用すれば、ズボンを上げる際にも利用できる。



<奨励賞>

○楽に干してみん？（角 風華）

- ・片麻痺の方や両上肢が挙上しにくい方が洗濯物を干す際の負担を軽減するために作製されたもの
- ・S字フックを利用してすることで洗濯バサミの取り外しが容易になり、手元で洗濯物を挟んでから干すことができる。



○ワイヤー入りよだれかけ（布施 光里）

- ・床やおもちゃによだれが付くことを防ぐために、よだれを受ける部分を角度調整できるよう工夫したもの
- ・よだれかけの縁にワイヤーを取り付け、縁を立ち上げて角度をつけられるようにすることで、よだれをキャッチしやすくなっている。



○やさしい寝＆みんなで見守り台（松本 友美）

- ・日常生活上の介助や医療的ケアを行う家族に負担がかからないよう、高さや大きさ等を工夫したベッド
- ・ベッド下に医療用品等が収納できるようスペースが設けられているほか、家族がバイタルサインを確認しやすいようにモニター用の回転台が設置されている。



福祉用具部門（企業部門）

<最優秀賞>

○大きな一步を踏み出す勇気を与えるトレーニング機器
(金沢工業大学クラスター研究室)

- ・高齢者や、歩行能力が低下した方の歩行能力改善を目的として作製されたトレーニング機器
- ・ゲーム画面に表示されるモグラに合わせて足を前に大きく踏み出し、センサを踏むと得点が入る仕組みで、自宅で楽しみながらトレーニングができるようになっている。



<優秀賞>

○車いす用携帯スロープ「新パラレール120C（仮称）」
(津田駒工業株式会社)

- ・使用者の意見をもとに既存の車いす用携帯スロープを改良したもの
- ・旧タイプより地面とスロープとの接地面の段差が小さくなっているため、車いすでの昇降がしやすくなっています。また重量が4.2kgから3.5kgまで軽量化され、持ち運びやすくなっています。



<奨励賞>

○おもてなし漆器（中島忠平漆器店）

- ・指先の力が弱い方でも持ちやすいように椀の縁に出っ張りをつけており、熱伝導性が低い輪島塗の椀のため、熱さを感じずに持つことができる。
- ・様々な手の大きさに対応できるようサイズ展開されており、入れ子にして収納することもできる。

